施工段階		躯体工事		4	設備工事： 打込電線管	シート番号 4-1
電気	空調	衛生	その他			
○	－	－	－			

ポイント

■スラブ埋込み配管

電気設備工事監理指針によると

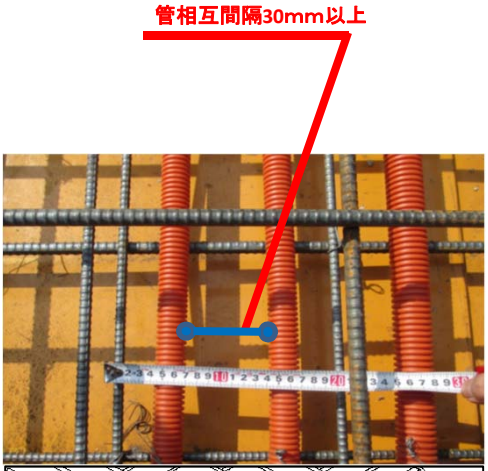
・埋込む電線管の径は28ｍｍ以下かつスラブ厚の1/4以下とし、交差は極力減らします。

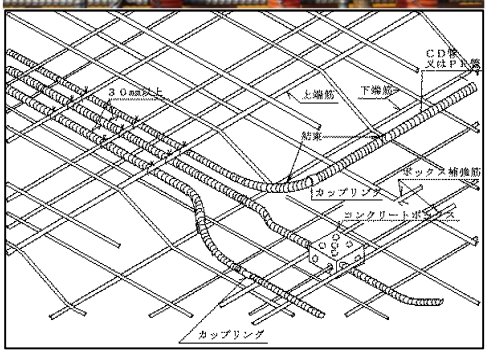
・並列して配管する場合は管相互の間隔は30ｍｍ以上とします。

■壁埋込み配管

・外壁や住居区画壁には打込まないようにします。

・電線管内での接続はNGです。接続が必要な場合はジャンクションボックスを設けます。



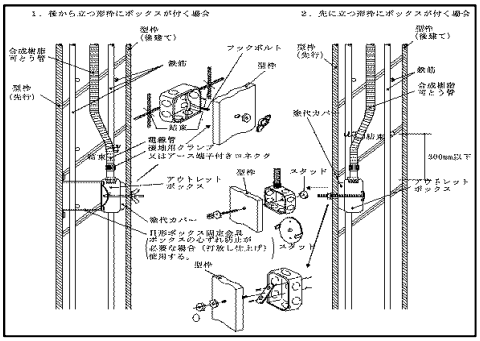


スラブ打込み　合成樹脂管

先輩アドバイス

・設計図の特記仕様書を確認しましょう。

・開口部周り・PS部分・屋上スラブ・重量機器周りなどは、コンクリートのひび割れの発生の可能性があります。



壁打込み　合成樹脂管

チェック項目

□特記仕様書の確認はしましたか。

□配管ルート・交差の事前確認は行いましたか。

□配管を避けるべき場所は確認しましたか。

失敗すると…

・コンクリートのかぶり厚さ不足によるクラック、防耐火性能低下、強度不足等の問題が起こる可能性があります。その場合、ポリマーセメントモルタル等を使用した補修・増打ち工事を行うことになります。

共通管理項目	合理化 省力化	施工性 向上	品質・性能 向上	工期 短縮・圧縮	コスト削減 （材料）	コスト削減 （労務）	設備 先行工事	工事区分 見直し	責任所在 明確化
	－	－	○	－	－	－	－	－	－

備考	参　考　文　献　：	制定	2019年3月1日
	参考メーカー：	改訂	